

| 平成 29 年度 |

びわ湖ホール

劇場サポーター活動記録集



滋賀県立芸術劇場

びわ湖ホール

BIWAKO HALL CENTER FOR THE PERFORMING ARTS, SHIGA

## はじめに

2017年度はびわ湖ホールにとって、嬉しいニュースが続いた1年でした。

ワーグナー作曲『ニーベルングの指環』4部作を毎年1作ずつ4年かけて新制作・上演する『びわ湖リング』。昨年度上演した、第1作目の『ラインの黄金』が三菱UFJ信託音楽賞を受賞。この勢いに乗り、今年3月に上演した第2作目の『ワルキューレ』も日本各地のオペラファンの注目を集め、両日満員のお客様を異次元の世界へと惹きこみました。びわ湖ホールの自主制作オペラが全国的に評価されてきていることを実感します。来年3月の『ジークフリート』、そして2020年の『神々の黄昏』に向けて、さらに飛躍していきたいと思います。

また、昨年春の音楽祭において、沼尻芸術監督の紫綬褒章受章をお客様の前でご報告させていただきました。さらに、歌劇『ノルマ』が文化庁芸術祭賞音楽部門優秀賞、声楽アンサンブルが滋賀県文化賞を受賞するなど、多方面で数多くの賞を受賞しました。これらは、劇場サポーターの皆様をはじめとする、多くのお客様のご支援があって受賞できたものと、心より感謝申し上げます。今年9月には20周年を迎えるびわ湖ホールを引き続きご支援、ご協力賜りますよう、よろしくお願ひいたします。

滋賀県にとっても、嬉しいニュースがありました。平成27年の都道府県別平均寿命で、滋賀県が男性は第1位、女性は第4位であると厚生労働省の発表がありました。滋賀県は、日本一を誇る琵琶湖と山々の緑に溢れ、多くの自然に囲まれた素晴らしい環境を有しています。年間を通して行楽などへ出かける人も多く、そういう心のリフレッシュが長寿県日本一になった理由の一つのようです。私は、滋賀県に古くから受け継がれる芸術・文化が数多くあることも深く関係していると思います。芸術・文化を嗜むことは、心のリフレッシュに繋がります。芸術に触れる機会を提供するびわ湖ホールは、長寿第1位の県にある劇場として、今後も多くのお客様の心を動かし、健やかなものになるよう励んでいきたいと思います。

劇場サポーターの皆さんも、サポーター制度の特典や交流会など、様々な機会をフル活用し、上質な舞台芸術の魅力を存分に楽しんでいただきたいと思います。そして、ご家族・ご友人など一人でも多くの方々へその魅力をお伝えいただき、引き続きびわ湖ホールをご支援いただけますと幸いに存じます。

平成30年3月

滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール

館 長 山 中 隆



## 目 次

---

びわ湖ホール劇場センター活動報告 .....	1
平成29年度「びわ湖ホール劇場センター」研修の概要 .....	26
平成29年度「びわ湖ホール劇場センター」自主活動の概要 .....	28
平成29年度「びわ湖ホール劇場センター」運営要綱 .....	30
平成29年度「びわ湖ホール劇場センター」の内訳 .....	31

---

# びわ湖ホール劇場サポーター 活動報告

期別（五十音順）

## 劇場サポーター活動報告

20期 乾哲也

3年前に劇場サポーターとして、活動に参加させて頂きました。平成29年度はその3期の最後の年となりましたが、個人的な事情が立て込み、研修講座や定例会等にほとんど参加できないまま一年が終わってしまい、個人的には不完全燃焼の感があります。

ただ、サポーター活動に参加させて頂いたことで、今までの自分の生活、世間の範囲が格段に広がり、多くのお知り合いが出来たことは、大きな喜びとなりました。3期は過ぎても、今後もサポーター活動への参加は継続していきたいと思います。

サポーターの活動としては、本当に大したことはしていないのですが、重要な「仕事」の一つであるパンフレット配りについては、3年間の継続の結果か、喜んでもらっていただける方が増えたと感じています。中には「今月まだ？」と催促を受けることや、友人に配るから、と4部5部ともらっていただける方も出てくるなど、些細な事ですが手ごたえを感じています。

私は奈良市在住なのですが、特に熱心な音楽ファンでないかぎり、びわ湖ホールに関する情報を得る機会は、正直、非常に少ないと言わざるを得ません。そういう状況で、毎月詳しい情報を届けられるのは、ささやかではありますが、多少なりともびわ湖ホールに貢献できる事ではないかと感じています。

そんな中で、去年は「ミカド」公演に知り合いを誘ったところ、思いもかけず10人以上の方が同行いただけすることになり、チケットの手配を始め、案内のチラシを手作りで作ったり、開演前の昼食の場所を確保したり、と「にわかツアーコンダクター」をやることになったのも楽しい思い出です。（「ミカド」は皆さんに大変好評でした！）

また、参加当初からハルモニアの編集グループに加えて頂き、その中で活動できしたこと、わいわいコンサートに参加してヘタな歌を披露したこと、事務局活動に加えていただいて活動できしたこと等は、色々な経験をさせて頂くと共に、多くの方との交友を深められる事となり、サポーター活動を行う上で大きなプラスとなったと、大変感謝しております。

びわ湖ホールは、その周辺環境、音楽活動を実行する実力、そしてホールを取り巻くファンの熱心さ、などの面で日本屈指の劇場ではないか、という事を改めて感じます。そのような劇場に、身近に巡り合えたことを感謝するとともに、何かびわ湖ホールの力になればと思い、今後もささやかですがサポーター活動を継続していきたいと思っています。

いつも思うことでありますが、大阪在住であり、なかなかサポーターの皆さんとの交流には参加できなくて申し訳なく思います。が、オペラ公演やそれに関連する講座にはできる限りびわ湖ホールへ足を運んでいます。私は「オペラ愛好会」という団体に所属しておりびわ湖ホールのオペラ公演では公演前や終演後に食事をしながらびわ湖ホールの良さや公演の感想などをお話ししています。また東京のオペラ公演へ行った際には「オペラ愛好会」の会員ともお会いして「ぜひびわ湖ホールへお越しください！」とお誘いしており、毎年3月のプロデュースオペラには東京の「オペラ愛好会」会員の方がたくさん来られています。

最後に私事ですが、大阪の酒蔵でこの5月に「酒蔵コンサート」を開催することになりました。並河寿美さん、藤田卓也さん、西田昭広さんの3名によるコンサートです。

いつの日かびわ湖ホール4大テノールのコンサートを開催できることを願っています。

# びわ湖ホール劇場サポーター 3年目活動報告

20期 中村 利和

劇場サポーターとして早や3年が経過してしまいました。

但し、サポーターとしてよりも、むしろ舞台芸術等の勉強の場として活用させて頂いた感が強いです。

講座や研修には極力参加させて頂きましたが、サポーター交流会への参画は殆どできずに過ぎてしまいました、

## (1) PR活動

1、2年度と同じく、大学図書館と企業の福利施設に、主に広報誌 Stage 等の資料を置いて頂きました。

設置場所の新規開拓を試みるも、残念ながら成りませんでした。

## (2) 講座・研修

3年目は17件の講座や研修に参加しました。

定番に加え、次の2件が特に印象に残っています。

- まるっとステージツア(7月15日)

これまで基礎講座等で何度かホールについて知る機会がありましたが、いずれも参加できていませんでした。

今回このツアーに参加させて頂いて、びわ湖ホールが如何に立派な、高機能を有するホールであるかを知ることができました。

- 仲道郁代アナリーゼ(楽曲分析)ワークショップ(9月14日)

本番は聴けませんでしたが、オペラ以外の公演で、このような事前学習も興味深かったです。

## (3) 交流会

定例会への参加は初回のみで、他の交流会イベントにも参加できませんでした。

3年経過しても当初思っていたホールへの貢献などは殆どできていませんが、舞台芸術や関連事項の知見を深めることも、サポーターとしての務めの一部と思って、今後も続けていきたいと思います。

## **サポーター活動2年目を振り返って**

第21期・奥野ちよみ

### **「ラ・フォル・ジュルネ」のボランティアに参加**

2017年度4月からはサポーター活動の2年目を迎えて、1年目に続いて、今年度も「ラ・フォル・ジュルネびわ湖」のボランティアスタッフに参加しました。

今回の業務は、ホール玄関前付近や、駐車場入り口での会場案内と、「ピアザ淡海」館内の「にやんばらデスク」での入会案内などを担当しました。

「にやんばらデスク」での業務は、昨年と同様だったのですが、今回初めて、ホール外部の通路や大階段下での案内業務を担当することとなり、当日の天候が気掛かりで、帽子や上着など持ち物が多くなりました。結局、担当業務の当日は、熱中症が心配になるくらいの晴天になり、担当場所の移動も多かったです。

また、腕章の受け取りや返却、業務報告などの細かな業務も多く、もう少し簡略化できないものかと思いました、

ただ、ホール階段下や、駐車場入り口での業務で気付いた点としては、これから会場に行く入場者の為に、「ラ・フォル・ジュルネ」のパンフレットの配布も、業務として加えてはどうかと思いました。

### **同窓会でびわ湖ホールを紹介**

昨年の7月、出身大学の同窓会が京都市内のホテルで開催され、出席しました。

当日は、多くの卒業生の他、教授や講師の先生方も10名近く参加されていました。

参加者たちのお互いの近況報告のあと、自己PRの時間が設けられ、ここで、びわ湖ホールの劇場サポーターの活動と、びわ湖ホールの魅力を、参加者の前で説明する機会を持てました。また、この時に持参した劇場の案内ちらしも配布しました。

### **古典芸能の魅力を発信**

今年度は、サポーター全員に情報が伝えられる、サポーター通信誌『ハルモニア』や、「らくらく連絡網」を活用した情報発信に努めました。

内容は、昨年度と同様に、能や狂言、歌舞伎などの日本の伝統芸能、それも滋賀県に関連する内容を中心とした観劇情報です。また、公演内容だけでなく、その劇場の特徴も、簡単な範囲内で説明するように心掛けました。伝統芸能の場合、例えば能や狂言は能舞台、歌舞伎なら花道を備えた歌舞伎劇場というように、芸能の種類と演じる舞台との関係性は切り離せません。

色々な劇場を訪れ、色々な舞台芸術を観劇することで、あらためてびわ湖ホールの優秀さを再認識することが出来ました。

# サポーター活動記録 21期 加納 康平

## パレルモマッシモ来日公演 エキストラ出演 6月

幸運なことに、舞台に乗ることができた。  
当日の舞台裏の様子をReportにまとめて 7月の定例会にて発表した。



Photo: 8/24 びわ湖ホール公演

テーブルと椅子に注目！



## 定例会・公開講座など

ほぼ皆勤。(日程調整が難しかった) 積極的に関与できたと思う。

## わいコン実行委員 6月

わいコンの実行委員として、チラシやプログラムの作成。当日のステージ担当などを行った。

## ボーリング大会 1月

昨年に引き続き、幹事を担当した。

## 2018年度の抱負

会合への皆勤を目指す。そのために事務局として、スケジュールの早期決定を図りたい。  
わいコンではCastとして関与したい。

Many Thanks to びわ湖ホール（びわ湖ホールに感謝して）

木下恭子 第21期

[びわ湖ホール Stage の配布]

[桜生史跡公園のハイキング] 4/8

この日は、「なばなの里」に行く予定でしたが、事情により、4/22に延期になりました。このハイキングに参加できました。古墳・銅鐸のことをいろいろ知ることができ、ありがとうございました。

ハルモニアに「想いを届ける弥生びと」というタイトルで、この内容を投稿しました。

[ラ・フォル・ジュルネ びわ湖 2017] 4/29 ~ 30

会場案内と一緒にやんばら先生のデスクのスタッフのボランティア活動をさせていただきました。

ボランティア活動の後、ドラムの簡単な演奏もでき、拍手も、もらいました。また、ホールに戻ったら、ジュリアン・マルティノー・トリオのみなさんのサイン会が開催されていて参加できました。マンドリン、ギター、コントラバスの三重奏で、3人の方と英語・スペイン語で会話を交わすことができ、楽しいひと時を過ごせました。

2017年のボランティア活動は、少なかったのですが、内容の濃いものになったと思います。来季はもう少し、参加できたらと思っています。

ありがとうございました。

## 劇場サポーター活動報告

平成30年2月23日  
第21期 住田 健

### 体験する事からできるPR活動

#### 1. はじめに

この1年間、オペラ入門講座を始め各種講座・イベントなど多くの教えて頂く機会を準備頂きありがとうございました。これらを体験することで、特にオペラに関しては日増しに興味が高まりさらに楽しく聴けるようになった。

#### 2. 活動結果

##### 1) PRのための基礎知識の習得

今年はびわ湖ホールのステージツアーに参加した。スタッフの方々の説明と共に普段客席からしか見たことがない舞台構造・装置、照明、音響設備などを間近で見ることができ大変感銘を受けた。現場を知ることは改めて重要と感じた。

各種講座・イベントに参加させて頂いた。特にオペラについては作曲家の意図、指揮者の思い、演出家の様々な舞台表現など具体的に細かく教えて頂いた。これまでオペラへの知識は乏しくただ鑑賞するだけであったが、これらの事を知った上で舞台を見るといつそうおもしろく、また感動的に鑑賞できるようになった。

##### 2) PR活動

私は高校の同窓生、また60歳以上の人人が通う滋賀県のレイカディア大学の卒業生との付き合いが多い。これまでびわ湖ホールの特長やイベント情報など機会あるごとに話してきた。

しかし、最近はびわ湖ホールの特長についてもステージツアーの体験や感想も交え具体的な話をし、またイベント情報も各種講座で教えて頂いたことや見学したことを交えて紹介するようにしている。そのためか最近は友人達からの質問も増えより興味を持って聞いてくれている。やはり現場を見ての話し、自分が教えて頂き感銘を受けた話しと言うものは良く伝わるものと感じた。

#### 3. 反省点と今後の方針

反省点としては友人への紹介はしているが、実際びわ湖ホールに来てくれた人が少ないと言うことである。

次年度は是非友人達と一緒にびわ湖ホールへ来館するイベントを企画したい。一度来館すればびわ湖ホールのすばらしさを体験し継続的な訪問に繋がるものと期待する。

これからもオペラをはじめいろいろなジャンルの音楽・芸術についての知識を深めたい。同時にその良さを友人・知人、さらに多くの人に紹介し広めて行きたい。

以上

## サポーター活動報告

21期 西川 尚子

### ♪ 活動した内容

- ① 送付していただいた広報物の配布物を近所のピアノ教室で生徒さんに配っていただき、シアターメイツの制度や公演を知っていただく。

### ♪ その活動によって得られた成果

保護者の方からもチラシの問い合わせをしてくださる方がいました。

### 感想・反省点・今後の抱負

今年度も引き続きサポーターとして活動をしていこうと思っていましたが、残念ながら、諸事情によりほとんどびわ湖ホールに足を運ぶことが出来ませんでした。

でも、今年度の目標として、シアターメイツの制度を知ってもらう活動をしようと思っていたので、子供が習っていたピアノ教室の先生にお願いし、各種公演のチラシとシアターメイツのチラシを生徒さんに配っていただくようにお願いしました。

シアターメイツは、6歳以上18歳以下の方が入会できるので、今後、15歳以上の高校生にももっと知ってもらえば・・・と思います。

### 活動

PR活動（チラシ類配布、びわ湖ホールfacebookをフォローなど）

ラ・フォル・ジュルネのボランティアスタッフ参加

びわ湖ホール主催の基礎講座・特別講座など受講

オペラ講座、ワーグナー・ゼミナール（上級編）受講

サポーター交流会の定例会グループに参加

### 活動成果

得られたびわ湖ホールの魅力について、人に話しています。また、SNSを通じて知人にびわ湖ホールの公演などを知っていました。友の会サポート会員に加入し、オペラなどの公演を鑑賞しました。

### 反省点

一年を通して活動にムラがあり、定例会や交流会への参加ができないことがありました。

### 感想と今後の抱負

サポーター二年目になり、オペラの魅力にどんどんはまってます。声楽についても従来の感じ方が変わってきて、好きになりました。

身边にびわ湖ホールがあることで舞台芸術が楽しめるのは幸せだと思います。

今後もびわ湖ホールが質の良い公演を提供できるよう、ファンを増やしてサポートしたいと思います。

# 劇場サボーター 2年目の感想

21期 松田純子

あと2年間でした。

一体私は何としていたのか…?

わかる事は、専らみんなのあとにくつひく追つこう…

と思ふる自分自身の姿あり(これでも)。どうか。

その表れとして、ひわ湖ホールへよく通る。よく気づります。(観賞観劇も含め) 逆に言えば、京都や大阪へはあまり行かなくなってしまった。

昨年6月にはわいこの司会の3分り、「ややこしき伝記」をさせていただきました。前任者・諸先輩方の細かいタクシースケジュール表やアドバイス等、感心するばかりでした。メイン司会のおふたりめりや、ありや、2下さったうご。私は大船に乗ったようでした。

先日はまた、18期の先輩と一緒に猪に、23期にならぬかも(い)ない元鹿への説明会にも参加させていただきました。(助手と一緒に) これもわくわくドドド感があり、無職の主婦にとっては珍しい経験でした。

劇場サボーターの存在をほとんど知らずに足を運んでいたのですが、良いおかけに恵まれてこうして携わるようになります。

自分のために、どこも良い勉強になります。頑張れば、自分の努力(Stage、公演チラシ等の配布、口コミなど)でサボーターがふえますように…頑張れ!

下手な文字、拙拙な文章、申し訳ござります。

## びわ湖ホール劇場サポーター2年目の活動

21期 松林智子

夏：「わいわい！コンサート」とサマーパーティ

秋：安土教林坊へ紅葉狩りハイキング

冬：クリスマスパーティ

お楽しみ行事にこれだけ参加、定例会やサロン、ホール主催講座にも概ね参加できました。演奏会も、大・中・小ホール何れも存分に楽しむことができて、びわ湖ホールを heavy に体験した1年間でした。

今年度特別な PR 活動としては、甚だ微力ですが、「わい!コン」に地元学生を出演させて頂き家族縁者友人をお呼びし「遠かったびわ湖ホールを身近に感じた」との感想を得られたこと、又逆に地元合唱団のびわ湖ホール出演をサポートや大津地区の方に紹介できたこと。地理的に中心を作り難い滋賀において、びわ湖ホールが今以上に全県民から愛され、集える場所になるためのアイデアは個人にはなかなか生まれません。今年5月から始まる「近江の春、びわ湖クラシック音楽祭」が本当に楽しみで、PRに努めたいと思います。

最後に私事ですが、シアターメイツ1年目の孫のオペラデビューを『ヘングレ』で飾るにあたって、先輩サポートーから「子供にとっては少し難解な部分と大喝采の部分がある」ことを教えて頂いたので、サポートー特権 KHP 見学に参加して予め予習したり、当日声を掛けて頂いたり子供クッションを勧めて頂いたり・・お陰様で孫の「楽しかったア！！」の声を聞く事ができました。これもサポートー活動ですよね。私も又誰かに返していくこうと思いました。

## たくさん学んで 21期 矢澤 和子

サポーターとして、3年目を迎えました。

レクリエーション担当なので、サポーター仲間とのハイキング・夏冬のパーティー・ボーリング大会など楽しいイベントで2年が過ぎました。

そしてもちろんサポーターとしての特典？であるホール主催の講座では、たくさん学ばせていただきました。

昨年もまず身近なところで、毎月のロビーコンサートに、幼稚園に通っている孫の友達を誘ってみたところ、ちょうどクリスマスの楽しいコンサートにとても喜んで、それからはよくコンサートにやってきて、シアターメイツの会員になりました。たまたま身内に音楽関係の人がいるということで、1歳の赤ちゃんと幼稚園の子供二人を連れて毎回、最近では向こうから誘われるくらいとても感謝されています。

私自身に関しては、勿論貴重な講座に出席し、たくさん学ばせていただきました。そのおかげで「ワルキューレ」も理解が深まり、十分楽しませていただきました。私が属する仲間にもワーグナーの素晴らしさを少し説明してあげることもできました。当然？「ワルキューレ」に来ました。いえいえ、元々その方は私よりもワーグナーの素晴らしさ、知っていました。逆に私よりも知識が豊富でした。なぜか私の周囲は皆さんびわ湖ホールのファンが多くて、私が薦める以前にチケット購入しているから、さすがです。私も頑張らなきや！

というわけで、まだまだ学んで、楽しんで、びわ湖ホールでの公演をさらに多くの方に楽しんでもらって、その楽しみを共有できるように励みますね。

## 2017年度 劇場サポーター活動報告

22期荒井 晶子

一年間ありがとうございました。

以前から劇場サポーターに興味を持っていましたがなかなか参加する勇気がなく、昨年思い切って応募をして一年、、、、、今はなぜもっと早くに応募しなかったのかと後悔しています。

様々な講座に参加させていただき、また定例会などでサポーターの方々のお話を聞くことによってオペラはもちろんのこと歌舞伎、ダンスなど舞台芸術の楽しみ方を知ることができました。

また、*Harmonia* の編集に参加させていただいたのも自身の勉強になりました。

毎回、皆さんの博識に敬服するばかりです。

「劇場の魅力を知りびわ湖ホールを好きになる・びわ湖ホールに足を運ぶ」

びわ湖ホールの講座やコンサートに通うことによって、またサポーターの皆さんのお話や*Harmonia*へのご投稿を読ませていただいて、ますますびわ湖ホールが好きになったのは間違いありません。

*Harmonia* を通じて声楽アンサンブルの魅力を知ることもできました。

また、昨年の「アッシジの聖フランチェスコ」の公演を見たことは大きな成果だと思いました。

サポーターに参加していなければチケットを買うことをしなかった・・・と思っています。

定例会や交流会にあまり参加できなかったのが残念であり反省点です。

「PR活動」

広報誌 Stage に各種チラシを折り込んで職場のチラシ置き場に毎月5~6部を設置しました。ほぼお持ち帰りいただいて月末にはなくなっていることが多くありました。また、バレエを習っているかたにバレエのチラシを直接お渡しして PR しました。

3部は友人に渡しています。

なかなか積極的に公演のお誘いができなかつたのが反省点です。

もっともっとホールの魅力を知りたい、舞台芸術の楽しみ方を知りたいと思ったので2018年度も参加させていただきたいと思っております。

よろしくお願いいたします。



一年を振り返って

22期 倉火田 有里 (大垣市)

優しくてとても矢口誠経験いはるの先輩方に出会い、  
世界が大きくながて1年でした。

ラ・フォル・ジュルネ

来場者の方々とたくさんお話ししました。  
ボランティアの力、すごい!!

わいわいコンサート

合唱の伴奏、最高に  
樂しかったです♪  
貴重な機会を  
ありがとうございました。

ハルモニア

よかなか活動に参加できず申し訳ありません。  
編集のノウハウを知るに、勉強になりました。

Twitter

Yuri@びわ湖ホール  
劇場サポート

公演情報

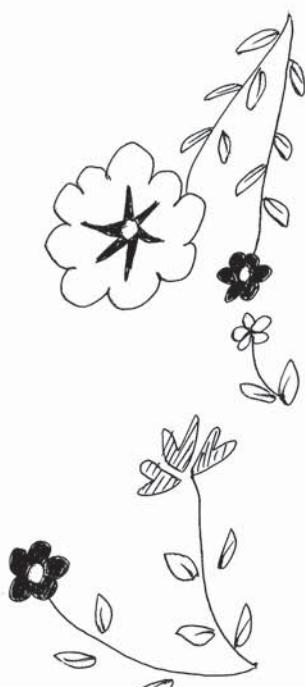
パンフレット等、地元の音楽の先生や音楽仲間に  
配布し、とても喜ばれています。参加できる、できよい  
より、まずは知ることから。  
人から人へと伝わることの重要性を学びました。

その他

夏に開催された指揮者セミナー、  
とても興味深く勉強になりました。

3月のドイツ歌曲研修を  
楽しんでいます♪

今後ともよろしくお願ひいたします。



## 一年を振りかえって

二二二期 澤野 栄一

この一年を振り返つてまず感じることは何もできていなかつたという反省です。

四月最初の会議を出席する予定でいましたが、親族の不幸があつたため、急遽欠席することになつてしましました。それ以降、基礎講座等いくつか参加をさせてもらいましたが、何となく宙ぶらりんな状態のままとなつてしまつたところです。

毎回送付いただいている広報物についても、ごく狭い範囲に配布する程度とどまっています。

唯一ホテルにとつてプラスになつてゐる点があつたとすれば、昨年はここ数年自分自身びわ湖ホールを訪れる回数が年一回か二回程度になつていたのが、倍以上に増えたことです。

昨年観た連隊の娘、パレルモ・マッシモ劇場そしてノルマ等の公演も實に素晴らしく、楽しく感動的なものでした。この劇場空間における感動を共有できるよう、また劇場ロケーションの素晴らしさを伝えられるよう、昨年よりは少しでも自分に納得のできる活動ができるようにとの気持ちをもつて一年の締め括り、次年度への出発にしたいと思います。

## 劇場サポーター活動報告

平成30年2月25日  
第22期 住田 昌子

### 楽しくオペラを鑑賞するために

#### 1. サポーター活動

同じ趣味のサークル仲間でオペラに感心がありそうな方々にチラシを配布している。特に友人達には連休を利用して家族や小・中学生の孫と一緒にオペラや演奏会（親子向けイベントなど）への参加を勧めている。

#### 2. 成 果

家族や孫と楽しく過ごすことができたと喜ばれている。  
一方、友人達ともびわ湖ホールへ行く回数を増やすことができ、共通の話題ができ楽しく過ごせるようになった。  
また、自分自身にとっても「ワルキューレ」などのオペラ講習会でオペラ鑑賞のポイントを教えて頂いた事から、オペラに大変興味が持てるようになり楽しみになった。

#### 3. 感 想

チラシ配布時にびわ湖ホールのサポーターをしていることや情報・トピックスなどを言い添えると真剣に聞いてもらえ、また友達からびわ湖ホールが身近に感じられるようになったと言われている。

「ワルキューレ」公演前の講習内容は初級から上級へとだんだん理解が深められるよう工夫されていてとても良かった。

#### 4. 反省点

「サポーター例会」は私の他のサークル活動と重なることが多くなかなか参加できない。申し訳ありません。

#### 5. 抱 負

オペラに興味を持つ友人は多いが、ほとんどの人はオペラ講習会のある事を知らない。事前に講習会に参加し、知識を得てオペラを鑑賞するとより楽しく、感動的に聴けることを伝えたい。

びわ湖ホール周辺に子供や若者達が集まる環境づくりを考え、コンサートの催しをもっとアピールして行きたい。

## まずはオペラ

第22期 中村 さつき

あっという間の一年でした。

劇場サポーターに応募時点では、こんなにたくさんのイベントをご用意いただいていたとは知らず、魅力的なイベントに参加させていただきたくて、スケジュール調整に苦労した一年でもありました。

特にオペラの学習会には何度も参加させていただきました。

オペラ通の方々の熱い思いに触れ、長い間忘れていたオペラへの関心が再び・・・。楽しみ方は無限、異彩を放つ極め人に感心感心。

あらためてびわ湖ホールが近くにあることを嬉しく思うと共に、今後の公演や学習会がとても楽しみな今日この頃です。

次年度もどうぞよろしくお願ひいたします。

## 「びわ湖ホール劇場サポーター活動」について

22期 西川佳則

### ・サポーター志望動機

趣味のオーディオでクラシック音楽に興味を持つようになり「びわ湖ホール」に足を運ぶようになった際に劇場サポーターを募集しているのを知った。ボランティア活動を何か始めたいと思っていた時期と重なり応募した。

### ・サポーター活動について

- 1.送られてくる公演情報誌を近隣の事業所2ヶ所に各10部、趣味のオーディオで集うメンバーに10部を配布
- 2.SNSにコンサート情報を掲載
- 3.ブログにコンサートの感想を掲載

### ・サポーター活動の成果と感想

事業所に情報誌を置きだした頃はびわ湖ホールの存在を知っていても行ったことが無い人がほとんどだったのが数か月後には「一度行ってみる」という人が現れだした。

情報誌の配布が遅れた時に「いつ持ってきてもらえるか心配した」と言う声を聞き、期待されていることが実感できたのと共に責任感を持つようになった。

実際にコンサートに行った人に「凄く良かった！感激した！」と言ってもらえると嬉しくなり、サポーターになって良かったと思った。

インターネット上での告知はそれなりの反響はあるが成果が分かりづらい。

サポーターの特典である「公演」に関するセミナーが無料で受講できたのは見聞を広める事ができた。

オペラ「椿姫」にエキストラとして出演できたのも普通ではできないことで人生の貴重な体験になった。

### ・今後の抱負

毎日数時間、音楽を聴いているがクラシックに精通し、その知識がサポーター活動に役立てばと思う。

## 劇場サポーターとしての活動報告 **22期 西山洋介**

### 1. どのような活動をしたか

ミカドやワルキューレのオペラ講座、古典芸能講座、ダンス、バレエ講座等をほぼすべて受講したほか、ゲネプロ、びわ湖ホールの見学会等にも参加するとともに、知人にびわ湖ホールの魅力を紹介、サポーターへの勧誘も行った。併せてびわ湖ホール友の会（サポート会員）にもなり多数の鑑賞（ジルヴェスターコンサート、ミカド、狂言、コンテンポラリーダンスなど）をさせていただいた。

### 2. 活動の成果

知人**1**名が**23**期劇場サポーターに応募することである。その他**2**名が検討中で、今期は無理でも来期(**24**期)には意欲を見せてくれている。

### 3. 感想

様々に開催される講座は、鑑賞、観劇などにあたり実践も含め様々な角度から事前に未知の世界を知り、本番を楽しむのに大いに役立つとともに、知人へ紹介するにあたって門外漢の私でも、その楽しさを伝えることができる素晴らしい講座だと感じる。知人は私の豹変に驚いてくれている。

### 4. 反省点

例会などには、ほとんど参加しなかった。サポーターの皆さんのがオペラなどを熱く語る姿に圧倒され、ついつい気遅れしてしまった。来期は少しずつでも参画したい。

### 5. 今後の抱負

びわ湖ホールに一人でも多く足を運んでもらえるよう色々な機会を通じ私設応援団として活動していく。

# 劇場サポーター活動報告

## 「新たな挑戦と出会い」

第22期 野村 稔

### ○活動の内容

- \*少しでも知識を広め関心が持てるようにと劇場サポーター研修講座や公演関連講座、稽古見学会を積極的に受講
- \*劇場サポーター交流会の定例会グループとサポーターズ・サロングループのメンバーに加わり、会議や打合せには可能な限り出席し、定例会やサポーターズ・サロンにも積極的に参加
- \*チラシ等の配布により、びわ湖ホールで開催する公演情報をPR
- \*舞台芸術への興味の範囲が狭く知識もなかつたが、びわ湖ホールで開催された公演を何作か鑑賞
- \*友人知人やグループ、団体の仲間にびわ湖ホールにも劇場サポーター制度があることを話した

### ○成 果

舞台芸術への関心が薄く知識もないままびわ湖ホール劇場サポーターになったこともあり、グループや団体の仲間、友人知人に「劇場サポーターになった」と話すことに躊躇していたが、グループ活動に参加し、研修講座や公演関連講座等も受講するようになってからは躊躇しながらも話せるようになりました。

また、サポーター交流会のグループ活動に参加することにより、新たな出会いもありました。

### ○感 想

びわ湖ホールと劇場サポーター（特にサポーター交流会）が協働し、お互いに課題と問題意識を共有しあいながら活動し、問題解決をしていく体制が少し弱いように感じました。

また、素晴らしい人材が加入されているサポーターの方々を、一人でも多く活動や事業に継続して参画してもらえるような工夫と理解がもう少し必要なではと思いました。

### ○今後の抱負

私は、私自身の大事な節目の一つを迎えたとき、創造性をもって「自由に生きる」ことを一つの目標にしました。

身近な存在であるびわ湖ホールの劇場サポーターに挑戦したのもそのためです。

「好きこそものの上手なれ」とはいかないので「下手の横好き」としてびわ湖ホール、サポーターの方々と「おもしい」を通わせ協働できる人間関係をつくり、自分が感じたことを他の人々に理解してもらえるような言葉で伝えられるようになりたいと思います。

いまだに知識がなく、関心も低いままですが「継続は力なり」、役に立たないかもしれませんのがこれからもサポーター活動を続けていきたいと思います。

## 私にとってのびゆ湖ホールの存在

私の中で滋賀県を誇れるものの代表がびゆ湖ホールです。クラシック音楽が大好き 生活の根底にあり 必要不可欠なものに成っています。このホールの誕生はこの上から喜びでした。それ以前は県外の(時に遠土も)あらニラのホールへ出かけておりました。

今は散歩かでうびゆ湖の四季折々の美しいロケーションを樂しみながらお茶をすることもしばしば このホールの存在は私の人生をどれほど豊かに潤してくれて「かか計りません」。

このホールの素晴らしいところは「毎回は一見に如かれ」 声と光にしてアピールしています。

さて、サポーターとしての主旨を踏まえながら 不安を抱きつつスタートいたしました。基本的な報物は(当時は部数はいかにも)投入するも、直接手渡しを心掛け その上で「チラシに目を通していただき 多少の演目の紹介や 良さをアピールしたとか 感心もおせて下さり お誂りの約束まで 又次回への約束にもつながっています。

余談になりますが 私はあるピアニストのファンで1m 過去46回 おかけていますか 毎回 還能させられています。関西のどのホールでも必ずお会う同じ思いの人達と興奮されやらぬ喜びを分かちます。その方達にもびゆ湖ホールのこと必ずアピール 少しづつ繋んでいます。

オペラに関して私の課題はひとと知識を深め 内容も把握してからといううことで基礎講座はしても毎回東京に受講したりしました。ライブ観劇に至らずとも 有料放送等のMETオペラは毎回録画してくり返り鑑賞しています。時にアートマネジメントで過去欠かしたことなく友人と参加しています。

沼原監督・岡田・藤野教授 それぞれ個性的で丁寧止のメラカゲリギリギリ 痴 ようほエセードなどもおもしろおかしくお詫びして下さりとてもいい勉強になります。

1年目 いろいろ勉強させていただきとても役立ったし感謝の念にたえません。 私にとりれてびゆ湖ホールの存在の大さき生涯共に進んでいく大切な場所です。

22期 特長部様子

## 平成 29 年度を振り返って

22 期 檜原悦子

- 4月 9日 「びわ湖ホール劇場サポーター」オリエンテーション  
第1回定例会  
ハルモニアに所属することを決める。
- 5月 14日 第1回基礎講座 舞台を作り上げていく裏話を聞く。  
第2回 定例会  
PRの仕方、チラシ配布のやり方を聞く。
- 6月 18日 わいわいコンサート
- 7月 1日 第1回特別講座  
毎日新聞 田中博子記者の話を聞いた。  
第1回サポーターズ・サロン
- 7月 15日 古典芸能講座  
深田博治 狂言をもっと楽しむ！
- 7月 17日 オペラ講座(初級編)「ミカド」
- 7月 22日 松竹大歌舞伎
- 9月 18日 バレエ・ダンス講座(ダンス編)  
20世紀ダンス史
- 10月 1日 オペラ入門講座「ミカド」
- 10月 25日 「ノルマ」ゲネプロ見学会  
初めてのオペラでした。
- 11月 26日 ハイキングに参加
- 12月 10日 狂言公演
- 12月 17日 定例会 合唱のよろこび  
クリスマス会
- 1月 7日 オペラ講座「ワルキューレ」初級編 第1回
- 1月 21日 オペラ講座「ワルキューレ」初級編 第2回
- 2月 3日 ワグナー・ゼミナール(上級編) 第1回
- 2月 18日 ワグナー・ゼミナール(上級編) 第2回
- 2月 28日 「ワルキューレ」ゲネプロ見学会

何の知識もないままにサポーターになり、手探りの1年でした。  
時間の許す限り参加しました。

サボーターとしての反省

第22期サボーター

松本 勢津子

毎月びわ湖ホールより公演チケット情報が  
サボーター宅に届きます。セットにてお友達や  
パート先の保育園の先生方に届けするの  
ですが皆さん楽みにて下さっています。  
其の都度、おすすめの公演をメッセージに  
託して送りますが、  
クラシック公演には参加して貰えるが、  
オペラ公演はなかなか参加せずかーく  
私自身の勉強不足もあり、お誘いが来ない  
のが二点からりの課題です。

## サポーター活動報告

22期 森 敬一

楽しい、中身のある1年でした。おかげで自分の引き出しを増やせました。サポーター やホール職員の皆さんにお礼申し上げます。

- ① 基礎講座、オペラ入門講座、定例会などに出席しました。主だった公演の前に勉強会を開いてくださるのは、高いチケットを目いっぱい楽しむのに有効です。若杉弘さんのヴェルディシリーズでのプレトークマチネーは必ず参加しましたが、その伝統が息づいています。よそのホールにはないもので、バレーの講座では生まれて初めてバレーのステップを踏み、ひっくり返りそうになりました。
- ② PR活動について。チラシの配布は定例会の議題にもあったように、どなたも苦心しておられるようです。私の近所に魚料理の得意なレストランがあります。ここにはグランドピアノが置いてあり、3組のスピーカーと7台のアンプがあります。うち6台は真空管でマスターの手作りです。ときどきコンサートが開かれます。先日はシーベルトのピアノ五重奏曲「鱈」他を20人余りで聴きました。ずいぶんぜいたくでしょう。もちろんプロの出演です。もちろんマスターは音楽好きです。ここに1セット置かせてもらっています。つぎに、妻がコーラスをやっていますので、その仲間にと数セット。残りは適当な人を見つけて“押紙”しています。でも、オペラやバレー、しかも高額の公演に呼び込むのはむつかしいですね。
- もうひとつは京都国立博物館のポータルサイトへの情報提供です。昨年まで同館でボランティアをしていましたが、仲間や職員で作るパソコン上の掲示板があります。退任後も引き続き投稿できますので、「びわ湖ホールだより」と題して公演情報をチラシの写真やアドレスを添えて流しています。
- ③ Harmoniaに投稿しました。「あのころ」と題して、若杉弘さんのヴェルディの9年連続公演について書きました。次号には「掛け声」と題して歌舞伎の話題を投稿しました。いずれお目に触れると思います。
- ④ ハイキングの担当をしました。昨秋は私のプランを通させていただいて、教林坊から五個荘まで歩きました。紅葉真っ盛りで、お天気もよく、喜んでいただけたかなと自画自賛しています。酒井様からていねいなご指導をいただきました。
- ⑤ 提言です。らくらく連絡網をもっと楽しいものに盛り上げましょう。もちろん皆さまの公演の感想記など興味深く拝読していますが、その他に、名所・史跡・美術館の紹介や他の劇場での公演、グルメ情報、居酒屋情報などアップしてください。

## サポーター1年生

22期 吉原圭子

「その年で挑戦？」と 友達に揶揄されながら、サポーターになって1年がすぎました。  
定例会：

オリエンテーションを兼ねた定例会1回目、広報活動の等、諸先輩から実践的な助言を頂いた2回目は出席し、有益だったと思います。その後は残念ながら私事と重なり、予定がたたず(特に10・11月)欠席せざるをえませんでした。そのため、会員の方々と接する機会が少なく、時間だけ過ぎ、ようやく自由時間が持てたのが12月です。

クリスマスパーティーにはそれまでの空白を埋めるべく、参加させていただきました。役員さんたちのご尽力で和気あいあいとした雰囲気の中、食事を楽しみながら会員相互の雑談に興じ、友好的時間を共有できたのは貴重だと思います。

### 広報活動：

毎月 Stage を友人や同じ習い事の仲間に見てもらっています。しつこいと思われないよう数人ずつ、数か月ごとに断続的に渡しています。他にかかりつけ薬局と行きつけの美容院にも数部ずつ、置き場所など負担にならない程度でお願いしています。

### 避難訓練コンサート：

入場無料ということもあり、パンフレットを渡した数人の方が参加してくれました。年に2回の食事会をする京都の友人たちも、予定を当日に合わせ参加してくれました。普段見られない劇場の部分など見られてよかったですと言っていました。

### オペラ入門講座と公演：

サポーターに応募した理由の第1が、オペラを知ること(知識・理解)、観ること、そして親しむことでしたので、興味のある講座には事情が許す限り出席しました。「ミカド」の入門講座は第1・2回ともリハーサル室でした。譜面台のたてかけてある広々とした部屋で講義を聞き、2回目には稽古風景を見学するという新鮮な体験もさせてもらいました。8月の「ミカド」公演は、舞台装置・衣装のデザインや色彩が斬新で、日本文化の新旧の要素をないまぜにしたところが、面白かったです。モダンさとコミカルな側面をもつ演出を楽しめたのは、予備知識としての講座によるところ大です。また、「ノルマ」公演ではマリエッラ・デヴィアの高音に酔いしれ、こんなに素晴らしい声の持ち主がいるのかと、感嘆しました。もし、サポーターになっていなかつたら聴き逃すところでした。

来る3月の「ワルキューレ」も是非この目で観たいと思い、初級講座はすべて出席。ワグナーは難しいということですが、プリントや映像を駆使した講座は、後期高齢者の頭脳にも入りやすく、回を重ねるごとに理解度が深まったようです。公演が待ちどおしいです。

# 平成29年度「びわ湖ホール劇場サポーター」研修の概要

## ◎ 劇場サポーター舞台芸術基礎講座（全サポーター対象）

### ○ 第1回 基礎講座（参加者数：28名）

日 時 平成29年5月14日(日) 14:00～15:30

場 所 びわ湖ホール 研修室

#### ■ 講 義

標 題：劇場技術運営～過去から未来へ～

講 師：押 谷 征 仁（びわ湖ホール舞台技術部 課長）

内 容：メトロポリタン歌劇場での研修の様子を交えながら、舞台技術の裏側や今後の劇場の在り方などについて説明。

### ○ 第2回 基礎講座（参加者数：16名）

日 時：平成29年11月12日(日) 14:00～15:30

場 所：びわ湖ホール 研修室

#### ■ 講 義

標 題：びわ湖ホール自主制作オペラについて

講 師：村 島 美也子（びわ湖ホール事業部 プロデューサー）

内 容：1つの作品が上演されるまで、どのように演目・スタッフ・キャスト陣等が決められ、どのような稽古スケジュールで進んでいるのか、上演作品を取り上げながら説明。

## ◎ 劇場サポーター舞台芸術特別講座（全サポーター対象）

### ○ 第1回 特別講座（参加者数：16名）

日 時 平成29年7月1日(土) 14:00～15:30

場 所 びわ湖ホール 研修室

#### ■ 講 義

標 題：舞台芸術の魅力を伝える～プロ記者のノウハウを聞いてみよう～

講 師：田 中 博 子（毎日新聞大阪本社学芸部記者）

内 容：新聞記者の日頃の取材方法とサポーターのPR活動に活かせるポイントを実践を交えながら座談会形式で紹介。

### ○ 第2回 特別講座（参加者数：32名）

日 時：平成30年1月13日(土) 15:00～16:30

場 所：びわ湖ホール 研修室

#### ■ 講 義

標 題：これであなたもワーグナー通～《ワルキューレ》攻略法～

講 師：横 原 千 史（音楽学者・音楽評論家）

内 容：3月上演の『ワルキューレ』をオペラファンも初心者も理解して鑑賞できるよう、ライトモティーフを追いかながら、ストーリーやポイントを説明。

## ◎ 劇場サポーターオペラ稽古見学会（全サポーター対象）

### ○ 歌劇『森は生きている』稽古見学会

日 時 平成 29 年 10 月 23 日(月) 12:00 ~ ※台風上陸のため中止

場 所 びわ湖ホール リハーサル室

### ○ 歌劇『ヘンゼルとグレーテル』KHP 稽古見学会（参加者数：21名）

日 時 平成 30 年 2 月 8 日(木) 14:00 ~ 15:00

場 所 びわ湖ホール 中ホール

## ◎ 公演関連講座（直近 3 期のサポーター対象）

びわ湖ホールで開催する主催公演をより一層お楽しみいただくとともに、周囲の方々へ積極的に公演の PR をしていただけけるよう公演関連講座研修を実施。

- バレエ・ダンス講座<バレエ編>（参加者数：13名）
- オペラ入門講座（全2回）（参加者数 第1回：18名 第2回：11名）
- 古典芸能講座<歌舞伎編>（参加者数：13名）
- オペラ講座『ミカド』（全2回）（参加者数 第1回：14名 第2回：14名）
- 古典芸能講座<狂言編>（参加者数：9名）
- バレエ・ダンス講座<ダンス編>（参加者数：9名）
- オペラ講座『アッシジの聖フランチェスコ』（全2回）（参加者数 第1回：9名 第2回：11名）
- オペラ講座『フルキューレ』（初級編・全2回）（参加者数 第1回：16名 第2回：17名）
- ワーグナー・ゼミナール（上級編・全3回）（参加者数 第1回：10名 第2回：11名 第3回：13名）

## ◎ 劇場サポーターーメーリングリスト

びわ湖ホールからの事務連絡や自主交流会の案内、公演や講座の感想などの発信に用いています。



（5月14日 第1回 基礎講座の様子）



（1月13日 第2回 特別講座の様子）

# 平成29年度「びわ湖ホール劇場サポーター」自主活動の概要

## 1. 定例会の開催

- (1) 4月 9日 (日) 第1回定例会  
(自主交流会紹介/年間計画紹介 ほか)
- (2) 5月 14日 (日) 第2回定例会  
(「PRの仕方～各自の工夫～」)
- (3) 7月 23日 (日) 第3回定例会  
(『椿姫』エキストラ体験記/「びわ湖ホール検定」お試し版  
「らくらく連絡網をもっと活用しよう」)
- (4) 12月 17日 (日) 第6回定例会  
(「合唱の魅力あれこれ」)
- (5) 1月 27日 (土) 第7回定例会  
(「『フルキューレ』の見どころ・聴きどころ」)
- ※第4回、第5回は都合により中止

## 2. サポーター通信「Harmonia（ハルモニア）」の発行

- (1) 11月 第39号 (2017年秋号)  
(声楽アンサンブル新メンバー、22期サポーター自己紹介/公演鑑賞記 ほか)

※ サポーター通信「Harmonia（ハルモニア）」…

サポーター同士のコミュニケーションを図り、びわ湖ホールをはじめとする、あらゆる舞台芸術の面白さを外部に向けて発信することを目的とした「サポーター通信」。1998年10月から1999年6月までに創刊準備号として3号を、2000年には名称を“Harmonia”（ハルモニア）として創刊号～第39号を発行しています。

### 3. レクリエーションの実施

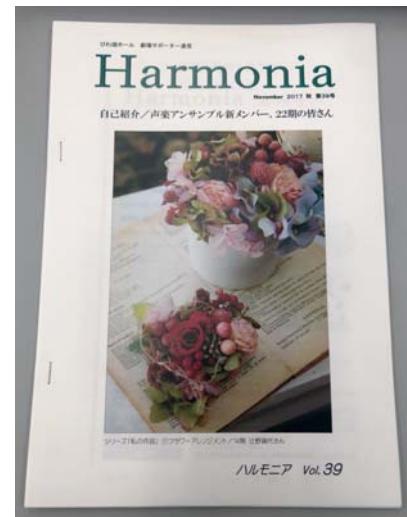
- (1) 4月 9日 (土) お花見ハイキング「甲賀流忍者の里を訪ねて」
- (2) 7月 23日 (日) サマーパーティー
- (3) 11月 26日 (日) 紅葉狩りハイキング「安土 教林坊（紅葉の名勝）～五個荘 街歩き」
- (4) 12月 17日 (日) クリスマスパーティー
- (5) 1月 27日 (土) ボーリング大会

### 4. そ の 他

- ラ・フォル・ジュルネびわ湖「熱狂の日」音楽祭 2017へのボランティア参加。
- 劇場センター交流会主催「わいわい！コンサート」〔6月18日 (日)〕開催



(7月23日 第3回 定例会の様子)



(サポートー通信「ハルモニア」39号)



(11月26日 紅葉狩りハイキングの様子)

# 平成29年度「びわ湖ホール劇場サポーター」運営要綱

## 1. 趣 旨

地域や職場、友人など、人のネットワークを活かして、びわ湖ホールとそこで上演される舞台芸術を生活に身近なものと感じる愛好者の輪を広げることを目的に、「びわ湖ホール劇場サポーター」（以下「劇場サポーター」という）を設置します。

## 2. 劇場サポーターの役割

- 舞台芸術についての情報およびびわ湖ホールで開催する公演の情報を、口コミやチラシ配布などにより地域や職場の方、ご友人に広く伝え、観客創造につなげていただきます。
- 舞台芸術に関する講座や研修を受講し、知識を広め関心を高めていただきます。
- 勉強会や交流会などの自主活動を通じて、ネットワークづくりを進めていただきます。
- 公演運営のお手伝いをお願いすることができます。

## 3. 劇場サポーターの定員と登録

公募により選ばれた方を劇場サポーターとして登録し、定員は概ね100人、登録期間は1年間とします。ただし、1年ごとに継続の意思確認を行いますので、希望される場合は更新することができます。継続の意思確認は2月～3月頃に行います。

## 4. 平成29年度活動

- (1) 舞台芸術情報やびわ湖ホールにおける公演情報の地域や職場、友人等への広報
  - ・口コミやチラシ配布などによるPR活動
- (2) 舞台芸術に関する研修の受講
  - ・基礎講座
  - ・特別講座
  - ・公演関連講座
- (3) 自主活動
  - ・交流会などの開催
  - ・劇場サポーター通信(Harmonia)の発行

# 平成29年度「びわ湖ホール劇場サポーター」の内訳

## 【期 別】

1期	2名
3期	4名
4期	1名
5期	1名
6期	5名
7期	2名
8期	4名
9期	4名
10期	3名
11期	2名
12期	5名
13期	5名
14期	3名
15期	5名
16期	3名
17期	7名
18期	9名
19期	3名
20期	4名
21期	12名
22期	13名

## 【居住地】

●滋賀県	
大津市	47名
草津市	2名
守山市	1名
東近江市	4名
彦根市	3名
米原市	1名
長浜市	2名
高島市	1名
●京都府	16名
●大阪府	9名
●兵庫県	3名
●奈良県	3名
●香川県	1名
●愛知県	2名
●岐阜県	2名

## 【性 別】

男性	42名
女性	55名

計 97名



**発行 滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール**

発行年月 平成30年3月

〒520-0806 大津市打出浜15-1

TEL 077-523-7133 FAX 077-523-7147

URL <https://www.biwako-hall.or.jp/>